

第3回大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会次第

日 時 令和3年8月3日(火) 14:00～

場 所 大磯町立図書館 大会議室

1. あいさつ

2. 議題

(1) 大磯町新庁舎整備基本構想の策定に向けた取組み状況について

・基本構想策定業務委託の進捗状況について・・・・・・資料1-1、資料1-2

・職員アンケート調査の実施結果について・・・・・・資料2

・町民アンケート調査の実施状況等について・・・・・・資料3、資料4

3. その他

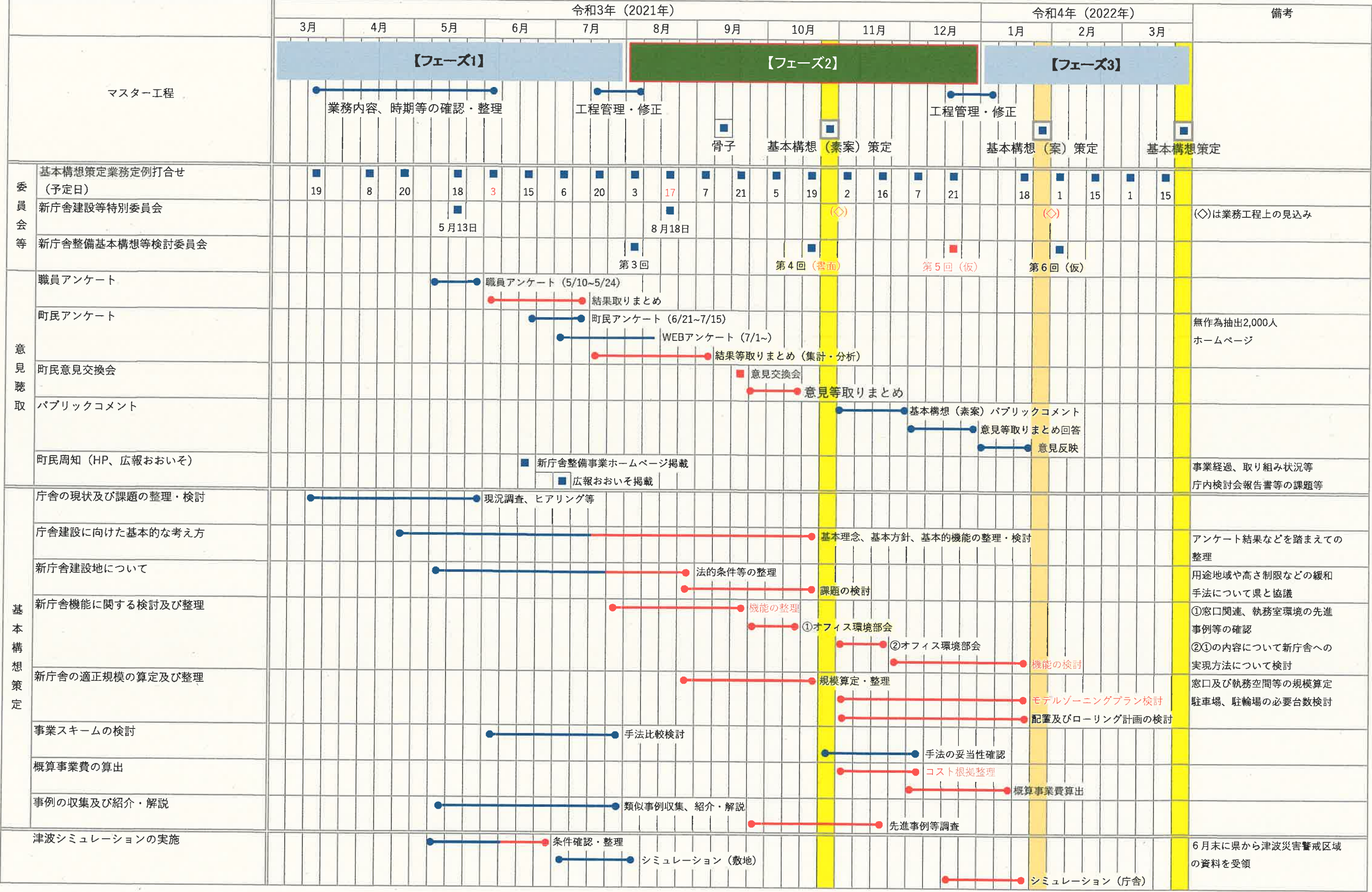
参考資料 公募型プロポーザル企画提案書等の審査結果について

■ 大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会 委員名簿

委員氏名	役職等
小谷 幸司	日本大学生物資源科学部くらしの生物学科教授
海老澤 模奈人	東京工芸大学工学部建築学科教授
藤江 きよみ	公募町民
小泉 隆史（新任）	大磯町区長連絡協議会会長（令和３年４月２１日～）
鈴木 孝善	大磯町民生委員児童委員協議会会長
佐藤 一樹	大磯町商工会青年部部长
岡崎 良介	中南信用金庫常務理事・総務部長
浪貝 洋正	神奈川県平塚土木事務所計画建築部長
山口 明宏	まちづくり団体（大磯ガーデニング倶楽部）

大磯町新庁舎整備基本構想策定 スケジュール (令和3年8月改訂版)

資料1-1



大磯町新庁舎整備基本構想策定業務 津波シミュレーション概要

1. 目的

- ① 敷地周辺の局所的な地形や建築物をモデル化することで、大地震発生により生じた津波が、現敷地内に向かってどのように浸水してくるか、浸水状況を時系列（時間毎に）で確認します。
- ② 基本構想で想定する新しい庁舎の簡易なボリュームモデルを作成し、当該庁舎に加わる概ねの波圧（圧力・転倒）等を確認します。
- ③ 新しい庁舎の配置・形状による計画地の浸水状況の変化を時系列（時間毎に）で確認し、配置・避難経路等を検討します。

2. 対象とする地震

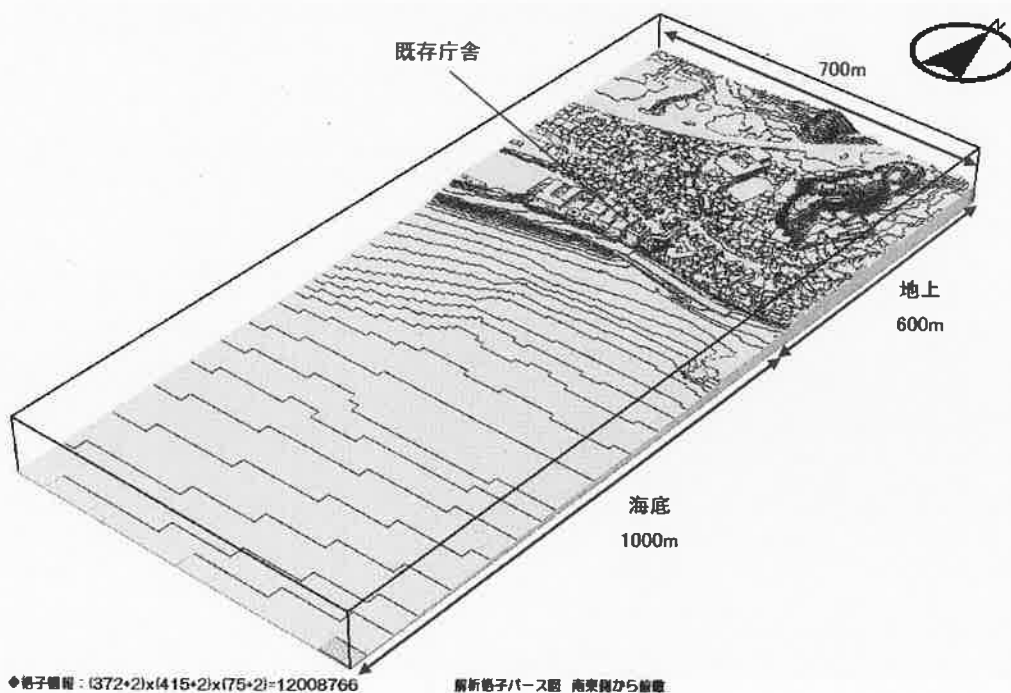
「津波浸水想定について（解説）」（平成 27 年 3 月 31 日公表、平成 27 年 6 月 22 日一部修正、神奈川県）の相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）による津波（最大津波高さ 17.1m）を想定し、シミュレーションを行います。

3. シミュレーション範囲

敷地を中心に東西方向約 700m 程度、南北方向は海岸線から約 600m 程度のシミュレーションを行います。

海底地形データ参照元：日本水路協会の海域図

地上地形データ参照元：国土地理院の基盤地図情報（数値標高モデル）



4. 再現時間

津波の遡上完了までのシミュレーションを行います。

再現時間としては約 10～15 分程度となる見込みです。

資料2

大磯町役場新庁舎整備基本構想策定に向けた職員アンケート

アンケート調査では、職員にこれまでの取り組み状況を周知するとともに、「これからの新庁舎づくりについて」広く意見を求めた。

調査期間：令和3年5月10日～令和3年5月24日

対象：正規職員、再任用職員等 257名

回答者数：210名（オンライン提出190名、手書き提出20名）

回答率：81.7%

■あなたについて

1 役職についてお答えください。

	回答数	対象者数	回答率
1 副主幹級以上	59	71	83%
2 主査・係長級	35	38	92%
3 その他	116	148	78%

2 勤続年数についてお答えください。

	回答数	回答の比率
1 5年未満	43	20%
2 5年～10年未満	43	20%
3 10年～20年未満	33	16%
4 20年以上	91	43%

3 職種についてお答えください。

	回答数	対象者数	回答率
1 行政職（事務職・技術職・技能職・労務職）	161	196	82%
2 その他（消防職・保育士等）	49	61	80%

4 年齢について教えてください。

	回答数	回答の比率
1 10・20歳代	50	24%
2 30歳代	46	22%
3 40歳代	39	19%
4 50歳代以上	75	36%

5 勤務先をお答えください。

	回答数	回答の比率
1 本庁舎または保健センター	122	58%
2 それ以外	88	42%

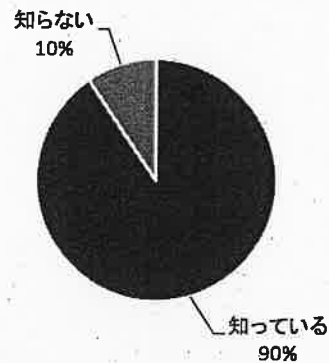
6 性別についてお答えください。

	回答数	回答の比率
1 男性	134	64%
2 女性	76	36%

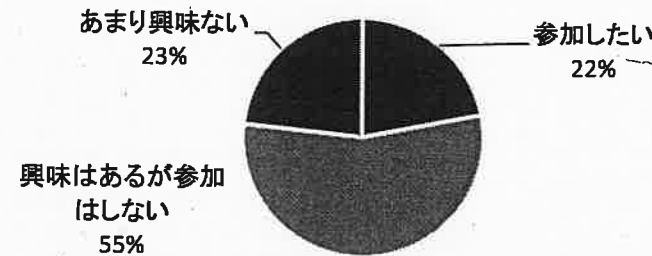
大磯町役場新庁舎整備基本構想策定に向けた職員アンケート

■これからの新庁舎づくりについて

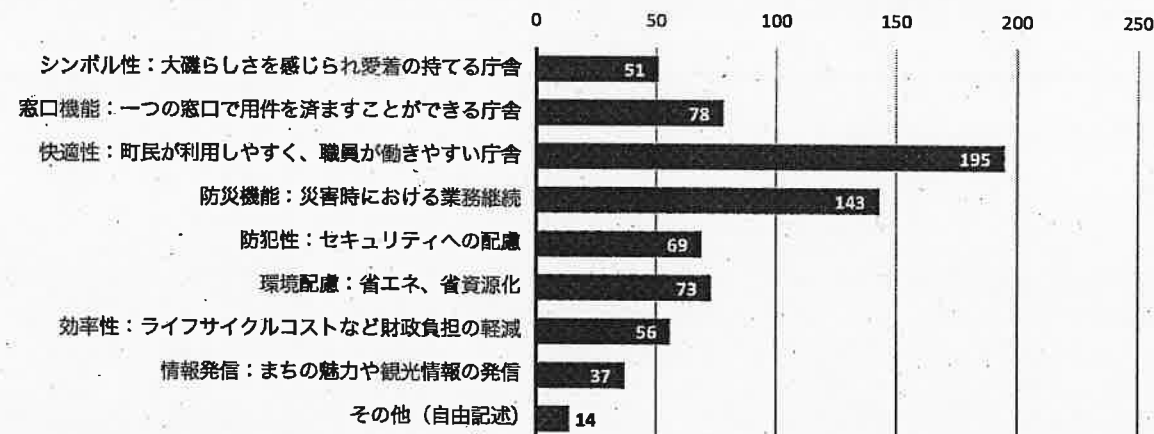
1 新庁舎の建設予定があることについてご存知ですか。



2 今後、設置を予定する「新庁舎づくり」における職員ワークショップに参加したいと思いますか。



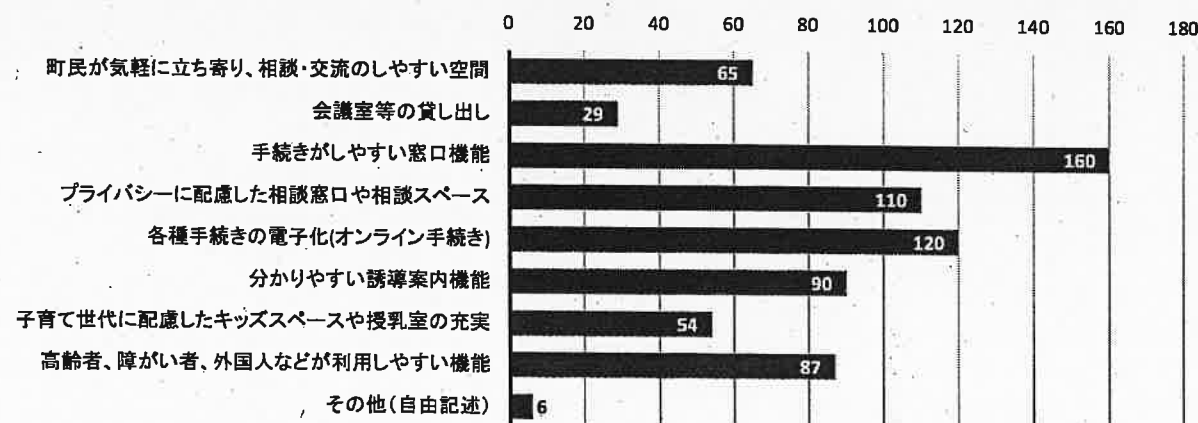
3 大磯町の特色ある新庁舎づくりとして特に重視すべきものは何ですか。(4つ以内複数回答)



その他の自由記述(主な意見を抜粋)

項目	コメント
防災	海が近いので津波への安心感を感じるか
立地	立地条件を活かした庁舎、自然光と海の眺めを堪能できるづくり
利便性	食堂の整備、冷暖房設備、バリアフリー、情報政策(書類の電子化)、フレキシブル性
建設場所	通勤のしやすい場所、町の中央部に

4 これからの町民サービスとして特に重視すべき庁舎機能のイメージは何ですか。(4つ以内複数回答)



その他の自由記述(主な意見を抜粋)

項目	コメント
利便性	店舗やコンビニ、銀行や郵便局のような機能
防災	災害時の拠点機能、防災機能

5 あなたが新庁舎に求める執務環境に関する機能として、優先度が高いと考えるのはどのようなことですか。(4つ以内複数回答)

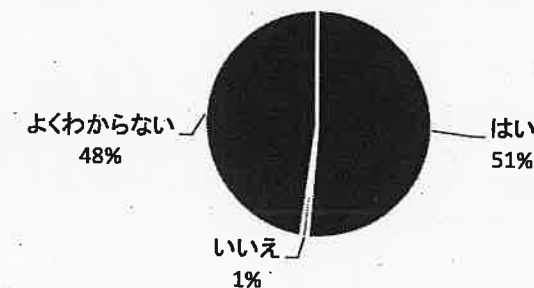


その他の自由記述(主な意見を抜粋)

項目	コメント
コロナ	感染症対策がしっかりとれた会計課のような仕切りのある窓口体制
執務環境	リモートワークが普及した時に職員同士のコミュニケーションが図られるような執務環境 空調の調整が可能、集中しやすい環境
利便性	住民の方が迷わないように、正面玄関や、課の前に看板などを設置

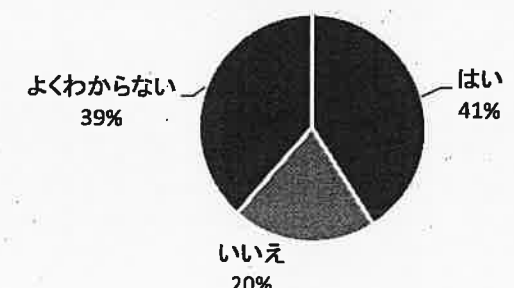
6 執務環境としてDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は必要だと思いますか。

→全ての年代において、「はい」と「よくわからない」が、およそ半数ずつという結果になった。「よくわからない」の選択には、DX自体がよくわからないという回答も含まれると思われる。



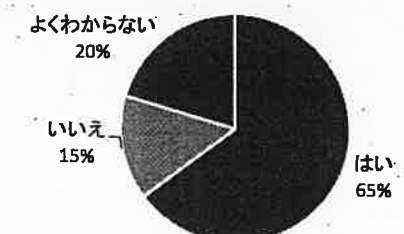
7 執務環境としてオープンフロア、フリーアドレス化等が必要だと思いますか。

→10～40歳代は「はい」の割合が大きく、50歳代以上では「よくわからない」が多い。「いいえ」「よくわからない」の回答者は、オープンフロア、フリーアドレスの導入に抵抗があるように思われる。



8 行政事務における職員のリモートワークや在宅勤務などの推進が必要だと思いますか。

→全ての年代で、「はい」の割合が多いが、特に10～30代において、「はい」の割合が大きい。40歳代以上で「いいえ・よくわからない」の割合が大きくなる。リモートワークや在宅勤務などの推進は、概ね必要という結果になった。



9 その他でこれからの執務環境として特に重視すべきものは何ですか。(自由記述)

→執務スペースの確保、セキュリティの確保など働きやすい環境を求める意見が多く、次いでペーパーレスや電子化に関する意見が多くあげられた。

(主な意見を抜粋)

項目	コメント
執務環境	窓口対応での防犯面の強化。書類関係の情報管理の強化
	IT関連、人員等の変動に対応しやすいフレキシブルな執務空間
	スペースの拡大(事務、収納、休憩室など)
	機密保持やプライバシーの保護を配慮した窓口及び執務エリアの設定
	将来を見越した変化に対応できる構造にする
	職員が安心して過ごせる執務環境（防犯、労働環境）
	人の動線に配慮した配置
DX	ペーパーレス化
	リモートワーク、在宅勤務の推進を進めてほしい
	電子申請、電子決裁など手続きの電子化
	文書保存の電子データ化
設備環境	自然エネルギーを活用した、照明、空調設備の充実
	エリアごとに照明・空調を制御できるシステム
	エネルギーの省力化
	業務を省力化するためのOA機器の配置
来庁者の 利便性	窓口は必要な大きさ・位置に設け、各課で必要な窓口の形を考えることが重要だと思う
	障害者、乳幼児連れにとって、来庁しやすい・働きやすい通路・照明・トイレの整備
	住民が来庁されたときに一目でわかるような庁内案内図、誘導案内機能の整備
働き方	リモートワークや在宅勤務ができる環境
防災	防災拠点としての機能維持
	町民や職員にとって、本庁舎が各種災害（地震・津波・台風・大雨・感染症・他）においても安全・安心の施設であること

10 あなたが現庁舎で改善が必要と思うことは何ですか。(自由記述)

→会議室の不足に関する意見が最も多く、空調（室温熱環境）やトイレの改善を望む意見が多くあげられた。

(主な意見を抜粋)

項目	コメント
執務環境	各課のスペースが狭い
	書類過多によるスペースの無駄遣い改善
	庁舎のwi-fiを整備
	事務室内の温度に差があるので、改善してほしい
	会議室、打合せスペースの増設、リモート会議に対応できるスペース
	職員用の休憩室の確保、昼食をとれる場所
	バリアフリー設計になっていない
	トイレの汚さ、狭さ
	空調設備等の改修
	十分な照明
来庁者の 利便性	窓口のわかりやすさ、容易な手続き
	バリアフリーの対応、エレベーターが狭いと車いすの方が使いにくい
	待合スペースの拡幅、密にならないよう配慮
	プライバシー保護のため、個別相談に対応できるスペースがあるとよい
	トイレのリニューアル
防災	子ども連れに対する配慮、授乳室やキッズスペースの確保
	防災拠点としての機能
	防犯面や災害面での強化が必要、特に津波などへの対策は必要
	独立した災害対策本部の設置
セキュリティ	閉庁日でも自由に庁舎に入れるため、セキュリティや施設管理上問題と思う
シンボル性	現庁舎は海沿いという好立地にも関わらず、常に人の活気あふれるようなシンボリックな機能としての発信力が弱い
DX	ペーパーレス化やデジタル化による事務のしやすい執務スペースへの改善
	オンライン会議がかなり多いので、オンライン会議用の個別ブースと回線

11 あなたが新庁舎に期待するものは何ですか。(自由記述)

→会議室・打合せスペースに関する意見が最も多く、次いで職員と町民の快適性を求める意見が多くあげられた。

(主な意見を抜粋)

項目	コメント
執務環境	働く人も来庁する方も気持ちのいい新庁舎
	昼食・休憩が取れる必要な広さを確保した職員スペース
	文書保存の見直し、電子決裁の検討
	会議室や対応スペースの増設
	フリーデスク、ワンストップ
	来庁者のプライバシーが確保できる環境
	職員間でコミュニケーションの取りやすい明るい環境
シンボル性	町庁舎へ訪れる機会のなかった人も、日常的に訪れ、憩える場があれば、町の活性化、庁舎を起点として港、明治邸園へ点と点を結び面で捉える人の交流が可能となる
防災	大磯町らしい歴史・文化の香りのするような建築物
	災害に強い庁舎（エネルギー等バックアップ機能）耐震性、防災機能
コスト	防災拠点としての機能
	イニシャルコストの抑制とランニングコストなど、財政面に配慮したエコ庁舎
DX	ICT化され、リモートワークできる環境設備
	今後のデジタル化・DXの推進など、変化に対応できる働きやすい庁舎
駐車場	駐車スペースの拡大

12 手続きやサービスのオンライン化など、デジタル化の推進を図るため庁舎機能に必要なものは何ですか。(自由記述)

→Wi-Fi や無線 LAN の意見が最も多く、次いでデジタル化に伴う設備の充実、証明書発行機やオンライン申請・相談の設置を求める意見が多くあげられた。

(主な意見を抜粋)

Wi-Fi環境、フリースポット
オンライン会議用の個室ブース
町としてのLINE、ユーチューブのアカウント
ビッグデータの活用、セキュリティの高いデジタルデータの保存
配線環境を含めて、拡張できる余地を作っておくこと
全体でなく対応可能な部署にフリーアドレスの導入
タブレットの貸出（紙資料の削減、町民相談や会議で使用）
情報機器と情報セキュリティを確保するためのスペース
在宅ワークなどを推進した際でも対応出来る庁舎づくりなど
分かりやすい誘導案内機能、電子案内表示板
電子決裁システムの導入。ペーパーレス化
オンライン専用の対応窓口、窓口機能の無人化
高齢者やインターネットを使わない人たちのための相談員の配置

13 あなたの考える大磯の魅力とは何ですか。(自由記述)

→自然に関する意見が最も多く、次いで歴史・文化のほか大磯の人間性、都心へのアクセス、コンパクトな町の規模などに関する意見もあげられた。

(主な意見を抜粋)

のんびりとした自然環境
海と山の自然がある
住むひとが人間味あること
都心へ1時間程度とアクセスしやすい
歴史的建造物
太平洋の眺望
小さい町だからこそいろいろなことが連携でき、いろいろなことを助け合える
地域的なコミュニティが残っていること
住民との距離の近さ
程よい田舎感
歴史文化の深さ

大磯町新庁舎整備基本構想策定業務委託に関する
公募型プロポーザル企画提案書等の審査結果について

大磯町新庁舎整備基本構想策定業務委託について、公募型プロポーザル実施要領に基づき参加者から提出のあった、「参加表明書」及び「企画提案書」の審査結果は下記のとおりでした。

記

順位	参加者名	評価点
1	株式会社 梓設計 横浜支社	102.0 点
2	株式会社 松田平田設計 横浜事務所	101.2 点

(事務担当は、政策総務部総務課公共施設係)

別表

参加表明書及び企画提案書の評価項目及び判断基準

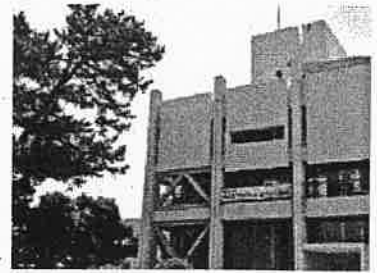
評価項目		評価基準	評価点
参加表明書	事務所の評価	同種・同等・類似業務実績、技術者数、有資格者数等	42
	技術者の評価	資格・実績、経験年数、繁忙度等	78
	小計①		120
	評価点（A）… 小計①×0.3		36
企画提案書	取組み姿勢及び実施体制	①業務実施に当たっての取組方針について	10
		②業務の実施体制について	10
		③業務担当者の実績等について	10
	提案①～⑤	提案①「大磯らしい庁舎の将来望まれる姿について」 …自然や歴史、文化に恵まれた町の庁舎として将来望まれる姿、今後の庁舎のあり方について提案すること	15
		提案②「災害に対応する庁舎について」 …町民の安全・安心を確保し、災害対策や復旧・復興の中心拠点として、発災後も機能の維持が確保できる庁舎について提案すること	15
		提案③「地球環境にやさしい庁舎 ～省エネ・省資源化対策～」 …地球環境に配慮した環境負荷低減のための方策やライフサイクルコスト削減のための方策などについて提案すること	15
		提案④「町民のための庁舎について」 …効率的な町民サービスと共に個人情報の保護や地域コミュニティの形成に繋がる開かれた庁舎について提案すること	15
		提案⑤「新しいライフスタイルを見据えた庁舎」 …今後の社会情勢の変化やデジタル化社会の進展を行政事務やサービスに活用できる可変性を持った庁舎について提案すること	15
	参考見積	見積金額の経済性	15
	小計②		120
	評価点（B）… 小計②×0.7		84
	合計（A+B）		120

新庁舎整備に向け、 基本構想の策定に取り組んでいます

町役場本庁舎は、昭和46年5月に建設され令和3年6月で築50年が経過しており、建物や各種設備の老朽化、町民が利用する窓口が狭い、障がいをお持ちの方をはじめ、誰もが利用しやすいデザインになっていないなど、様々な課題があります。

現庁舎は建築基準法の旧耐震基準により建設されていることから、平成13・14年度に「本庁舎防災対策工事」として耐震補強工事を実施しました。しかし、緊急対策という制約から現時点でも必要な耐震基準を満たさない階があります。そのため、大地震発生の際に、庁舎を継続して使用することが困難となり、災害応急活動や災害復旧活動に大きな支障が生じる恐れがあるため、早急な対策が必要です。

こうした課題を踏まえ、現在、町では地震災害への備えや町民サービスの向上といった観点から現在の場所で新しい庁舎を建替える、「新庁舎整備事業」を進めています。



▲現在の町役場本庁舎

..... これまでの検討状況

- 平成30年10月 大磯町役場本庁舎整備庁内検討会（庁内組織）設置
令和2年3月までに庁内検討会を8回開催
- 令和2年4月 大磯町役場本庁舎整備庁内検討会報告書を作成
- 令和2年7月 大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会* 設置
今までに検討委員会を2回開催
- 令和2年9月（大磯町議会）新庁舎建設等特別委員会 設置
今までに特別委員会を5回開催

※委員：学識経験者、公募町民、町内の関係団体や企業の代表などの方
目的：基本構想（案）の検討及び庁舎整備に関する事項について検討する
基本構想とは：町民ニーズを踏まえた庁舎の機能、規模、手法など、新庁舎整備に関する基本的な事項を定めるものです

新庁舎整備にあたっての考え方

建設地：現庁舎敷地を選定しました。

複合化：隣接する保健センターを複合化するとともに、消防事務の企画・調整部門も取り込みます（消防署は現在地のまま）。

財源確保：本庁舎建設基金（令和3年度末残高見込み約9.9億円）等、引き続き財源確保に努めます。

整備時期：新庁舎の利用開始時期については、令和7年度を目標とします。

..... 皆さんの声をお聞かせください

基本構想策定に向け、町民アンケートを実施しています

今年度は、新庁舎整備に向けた「基本構想」の策定に取り組んでいます。

この基本構想の策定を進めるに当たり、現在、町民アンケートを無作為で抽出した2,000人の方へ6月21日に発送し、実施しています。また、今後、町民の皆さんと意見交換会を実施していきます。

ホームページもご覧ください

町ホームページにて、新庁舎整備に向けた取り組みとして経過・資料を掲載しています。

また、新庁舎整備に関するご意見なども町ホームページで募集していますので、ぜひお寄せください。



固総務課 ☎内線209

▶ 大磯町役場 新庁舎整備について

更新日：2021年06月28日

大磯町役場本庁舎は昭和46年に建設され、隣接する保健センターは昭和57年に建設されており、令和3年6月で現庁舎が築50年、保健センターが築39年となります。

また、現庁舎は建築基準法の旧耐震基準^{※1}により建設されており、緊急対策として平成13・14年度に「本庁舎防災対策工事」による耐震補強を実施していますが、工事後においても構造的な問題から必要な構造耐震指標（Is値）^{※2}を上回っていない階層があります。東日本大震災や発生が危惧される関東大震災クラスの地震の際には、庁舎を継続して使用することが困難であると予測され、災害応急活動や災害復旧活動に大きな支障が生じる恐れがあるため、早急な対策が必要となっています。

そのため、町では「第5次総合計画」や「公共施設等総合管理計画・第1期個別施設計画」に基づき、優先して整備すべき公共施設と位置付け、令和7年度の利用開始を目標として庁舎の建替えに向けた取り組みを進めています。

旧耐震基準^{※1}と新耐震基準の違い

旧耐震基準とは、1950（昭和25）年から1981（昭和56）年まで適用されていた耐震基準で、10年に一度程度発生する震度5程度の中規模地震を想定しており、震度5強よりも大きい地震への定めがないため、倒壊しない場合であっても建物が損傷を受けている可能性は大いにあるというものです。一方、1981（昭和56）年6月の改正以降のものを新耐震基準といい、震度5強程度の中規模地震では軽微な損傷、震度6強から7に達する大規模地震でも倒壊は免れるとされるもので、その後1995（平成7）年にさらに法改正が行われていることから、耐震基準は大きな震災を経るごとに厳しいものとなっています。

構造耐震指標（Is値）^{※2}とは

建築物の地震に対する安全性を示す指標で、地震に対する建物の強度や靱性（変形能力、粘り強さ）、建物の形状バランス、劣化状況などから算出します。一般的に震度6強から7程度の規模の大地震発生時に安全であると考えられているレベルは0.6以上と設定されています。

新着情報

【令和3年度】

- ・ 5月13日 新庁舎建設等特別委員会に組み組み状況を報告しました。
- ・ 6月21日 新庁舎整備に関する町民アンケート調査を実施しています。
- ・ 6月28日 新庁舎整備に関するご意見を募集しています。

現庁舎の耐震性について

耐震診断結果（昭和62年）と耐震補強工事（防災対策工事）後の構造耐震指標（Is値）^{※2}

	X方向（南北方向）		Y方向（東西方向）	
	耐震診断結果	耐震補強工事後	耐震診断結果	耐震補強工事後
5 階	1.76	0.847	1.72	0.832
4 階	0.20	0.557	0.61	0.633
3 階	0.20	0.599	0.33	0.506
2 階	0.18	0.568	0.27	0.515
1 階	0.15	0.589	0.24	0.527
地下	0.28	0.564	0.21	0.520

※「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）では、官庁施設の特性に応じた耐震安全性の目標を定めており、庁舎は、町民の安全や生活を守る重要な拠点であり、災害対策本部の設置など総合的な防災拠点としての十分な機能確保が求められることから、「1類（Is値0.9以上）」または「2類（Is値0.75以上）」の基準が目標とされています。

新庁舎整備事業の経緯

- ・ 2018年10月 大磯町役場本庁舎整備庁内検討会を設置しました。
- ・ 2020年 4月 大磯町役場本庁舎整備庁内検討会報告書を策定しました。
- ・ 2020年 7月 大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会を設置しました。

- ・ 2020年12月 新庁舎整備基本構想策定業務に関するプロポーザルを実施しました。
- ・ 2021年 3月 新庁舎整備基本構想策定業務委託の受託事業者を決定しました。

大磯町新庁舎整備庁内検討会

現庁舎の現状と課題の整理を行い、新庁舎整備に向け た基礎的な事項となる施設規模や建設地、複合化により集約すべき機能や事業手法などを調査し、事業に伴う計画スケジュールの検討を行いました。

[本庁舎整備検討会設置要綱\(PDFファイル:44.6KB\)](#)

[本庁舎整備庁内検討会報告書\(PDFファイル:4.2MB\)](#)

※下線の項目をクリックすると、該当する資料をご覧になれます。

大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会

大磯町役場の新庁舎整備に際して策定する基本構想について、基本構想（案）に関する事項と庁舎整備に関する事項の必要な調査及び審議を行うため、学識経験者・公募町民・町内の関係団体や企業の代表により構成されています。

[大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会規則\(PDFファイル:51.5KB\)](#)

[大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会名簿\(PDFファイル:39.2KB\)](#)

- ・ 2020年 7月 第1回大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会を開催しました。
- ・ 2020年 9月 第2回大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会を開催しました。

※[こちら](#)をクリックすると、委員会の会議録や会議資料をご覧になれます。

新庁舎建設等特別委員会

町議会において、新庁舎整備に関する事項について調査・研究を行うため、新庁舎建設等特別委員会が令和2年10月に設置されています。

①・ [新庁舎建設等特別委員会 令和2年10月14日](#)

①・ [新庁舎建設等特別委員会 令和2年10月21日](#)

①・ [新庁舎建設等特別委員会 令和2年11月2日](#)

①・ [新庁舎建設等特別委員会 令和2年12月21日](#)

※下線の項目をクリックすると、会議録をご覧になれます。

新庁舎整備に関する業務委託

【令和2年度】

○大磯町新庁舎整備基本構想策定業務委託

新庁舎の建設に向けて、規模・機能・施設内容・事業費等の設計と件（基本設計に向けての条件）や、敷地全体の計画など設計の前提となる基本的な考え方をまとめます。

- ・ [大磯町新庁舎整備基本構想策定業務に関する公募型プロポーザルについて](#)

審査の結果

順位	事業者名	評価結果	備 考
1	株式会社 梓設計 横浜支社	102.0点	採 用
2	****	101.2点	

※2者参加、辞退者はなし（120点満点）

契約の概要

受託事業者：株式会社 梓設計 横浜支社

委 託 期 間：令和3年3月10日～令和4年3月18日

契 約 金 額：17,600,000円（消費税及び地方消費税を含む）

契 約 日：令和3年3月10日

お問い合わせ
CONTACT

政策総務部 総務課 公共施設係
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話番号：0463-61-4100（内線：209,222）
ファックス：0463-61-1991
[メールフォームによるお問い合わせ](#)



PDFファイルを開覧するには「Adobe Reader (Acrobat Reader)」が必要です。お持ちでない方は、左記の「Adobe Reader (Acrobat Reader)」ダウンロードボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

e-KANAGAWA		大磯町	電子申請システム	ログイン
		利用者登録		
申請団体選択	申請書ダウンロード			
》 手続き申込		》 申込内容照会		》 職責署名検証

手続き申込

手続き選択をする	メールアドレスの確認	内容を入力する	申し込みをする
----------	------------	---------	---------

申込

選択中の手続き名：新庁舎整備に関する意見募集について

問合せ先 **+開く**

説明 新庁舎整備に関するご意見を募集しています。ぜひお寄せください。
受付時期 2021年6月25日0時00分～ 随時

あなたについて

1 年齢についてお答えください。 **必須**

選択してください

2-1 お住まいについてお答えください。 **必須**

選択してください

3 主たる職業についてお答えください。 **必須**

選択してください

これからの新庁舎づくりについて

新庁舎の整備にあたり、重要視すべき点や新たに加えたい機能など、ご提案やご意見をご記入ください。

入力文字数: 0/ 500

確認へ進む



入力中のデータを一時保存・読み込み

【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。
- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください

「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了していませんのでご注意ください。

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

↓ 入力中のデータを保存する

↑ 保存データの読み込み

【システム操作に関するお問合せ先（コールセンター）】

固定電話: 0120-464-119（フリーダイヤル）

携帯電話: 0570-041-001（有料）

（平日 9:00～17:00 年末年始除く）

電子メール: help-shinsel-kanagawa@s-kantan.com（原則24時間）

FAX: 06-6455-3268（原則24時間）

※FAX及び電子メールによるお問合せは、次の項目を必ず御記入ください。

「氏名」「連絡先」「利用環境（OS/ブラウザ）」「申請・届出先自治体名」

これらの記載がない場合、お問合せに回答できない場合があります。

【各手続の事務的な内容に関するお問合せ先】

各手続の担当課にお問合せください。

新庁舎整備に関するアンケートへのご協力をお願い

大磯町役場の本庁舎は、昭和 46 年 5 月に建設され 50 年以上が経過しており、耐震基準を満たさない階があるほか、建物や各種設備の老朽化、町民が利用する窓口が狭い、障がいをお持ちの方をはじめ、誰もが利用しやすいデザインになっていないなど、様々な課題が指摘されています。

そこで現在、町では、地震災害への備えや町民サービスの向上といった観点から、隣接する保健センターとともに現在の場所で新しい庁舎を建替える、「新庁舎整備事業」を進めているところです。

このたび、新庁舎整備に向けた基本構想^(※1)の策定に向けた参考とするため、広く町民の皆様のご意見をお聞きするためのアンケート調査を実施することといたしました。

ご回答は統計的に処理し、お答えいただいたご本人の情報を個別に取り扱うことは一切ございません。

趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和 3 年 6 月

大磯町長 中崎 久雄

【同封書類】

- 1 調査票「大磯町役場新庁舎整備に関するアンケート」
- 2 新庁舎整備に関するアンケートの参考資料
- 3 返信用封筒

(※1) … 基本構想は、新庁舎建替えに向けた課題を抽出し、町民ニーズを踏まえた庁舎の機能、規模、場所、手法や工程など、基本計画のもととなる項目について検討を行い、新庁舎整備に関する基本的な考え方を定めるものです。

大磯町役場新庁舎整備に関するアンケート

このアンケートでは、新庁舎整備を進めるにあたり、町民の皆様から、庁舎の利用状況や新庁舎へのご意見をお伺いします。いただいたご意見は、基本構想策定のための資料とし、よりよい新庁舎整備を進めていけるよう、参考にさせていただきます。回答に当たっては、庁舎についてまとめた別添の「参考資料」をご覧ください。

1 このアンケートについて

- ・ 町内にお住いの 18 歳以上の方の中から、無作為抽出した 2,000 人の方にお送りしています。
- ・ 回答は無記名であり個人が特定されることはありません。また、調査回答は統計的に集計し基本構想を作成するための基礎資料としてのみ使用します。
- ・ アンケートの集計結果は、町のホームページで公表します。

2 アンケートの回答方法

- (1) 調査票（本紙）に回答を記入してください。
- (2) 同封の返信用封筒に記入した調査票を入れ、回答期限までに、ポストに投函してください。（切手不要）

※ なお、回答は宛名のご本人様にお願いします。ご家族の方等がご本人の意見を聞きながら記入いただいても結構です。

3 アンケートの回答期限

令和3年7月15日（木）

4 お問合せ先

不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

大磯町役場 政策総務部 総務課 公共施設係 電話 61-4100 内線 209・222

次ページからアンケートが始まります。

1. あなたについてお伺いします。

問1) あなたの年齢について、○をつけてください。		
1. 10・20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代
4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳以上
問2) お住いの地区について、○をつけてください。		
1. 東部（大磯）地区	2. 西部（国府）地区	
問3) 主たる職業について、○をつけてください。		
1. 会社員	2. 公務員・団体職員	3. 自営業
4. 農林水産業	5. パート・アルバイト	6. 家事従事
7. 学生	8. 無職	9. その他
問4) 居住年数について、○をつけてください。		
1. 5年未満	2. 5年以上 10 年未満	
3. 10 年以上 20 年未満	4. 20 年以上	

2. 庁舎（役場本庁舎・保健センター）の利用状況についてお伺いします。

問5) 今までに庁舎を利用したことがありますか。どちらかに○をつけてください。		
1. ある ⇒ 問6) へお進みください。		
2. ない ⇒ 問 10) へお進みください。		
問6) 最近の1～2年で庁舎を利用した回数に、近いもの1つに○をつけてください。		
1. 週に1～3回程度	2. 月に1～3回程度	
3. 年に1～3回程度	4. ほとんど利用しない	
問7) よく利用する庁舎に○をつけてください。		
1. 本庁舎	2. 保健センター	3. どちらも
問8) 庁舎を利用した用件に近いものに○をつけてください。（複数選択可）		
1. 住民窓口（戸籍、住民票、保険、年金、税金など）		
2. 健康、福祉、子育て	3. 教育、文化、スポーツ	4. 防災
5. 観光、産業、まちづくり	6. 議会の傍聴	7. その他
問9) 庁舎への主な交通手段について、○を付けてください。		
1. 徒歩	2. 自転車・バイク	3. 自動車
4. バス	5. タクシー	6. その他

3. 現在の庁舎についてお伺いします。

問 10) 庁舎を利用して施設面や環境面で不便に感じたことはありますか。

最大5つまで○をつけてください。

その他を選択する場合は、() に内容を記入してください。

1. 建物が古く安全面に不安がある
2. 駐車場・駐輪場が足りない
3. 行きたい部署がどこにあるかわからない
4. 一つの窓口で用件が済まず、何か所も回らなければならない
5. 窓口や相談室でのプライバシーに対する配慮が足りない
6. 待合スペースや通路が狭い
7. 多目的トイレがない、トイレが使いづらい、場所がわからない
8. 授乳室・ベビーベッドなど乳幼児への設備が足りない
9. 階段や段差など高齢者や障がい者への配慮が足りない
10. 照明が暗い、庁舎内が暑いまたは寒い
11. 特に不便は感じない
12. その他 ()

4. これからの新庁舎について、あなたのお考えをお伺いします。

問 11) 新庁舎の建設にあたり、あなたが重要視することは何ですか。

最大5つまで○をつけてください。

その他を選択する場合は、() に内容を記入してください。

1. 災害時に迅速な対応が行える防災拠点であること
2. 駐車場や駐輪場が十分確保されていること
3. 町民サービスの向上に結び付く窓口の配置がされていること
4. プライバシーに配慮した相談スペースがあること
5. ロビーや待合スペースが十分であること
6. すべての方が利用しやすいよう配慮されていること (バリアフリー・ユニバーサルデザイン)
7. 町のシンボルとなるような優れたデザインの建物であること
8. 施設整備・維持管理のコストを抑制できる建物であること
9. 省エネルギーなど地球環境にやさしい建物であること
10. 町民による多様な交流ができる開かれたスペースがあること
11. 町民サービスに結び付く ICT (情報通信) 環境が整備されていること
12. その他 ()

裏面に続きます。

問 12) 新庁舎を整備する際に、加えたい機能(施設)はありますか。

最大4つまで0をつけてください。

その他を選択する場合は、()に内容を記入してください。

1. わかりやすい案内の充実（総合受付・案内表示など）
2. 子育て支援スペース（授乳室、キッズスペースなど）
3. 町民活動などに利用できるスペース（会議室、交流スペースなど）
4. 休憩・待ち合わせスペース
5. 飲食スペース
6. 災害時の避難スペース、備蓄倉庫
7. 情報公開コーナー
8. ATM コーナー
9. 必要最小限の機能でよい
10. その他（

問 13) 新庁舎の整備について、ご意見やご要望、ご提案がありましたら、以下にぜひご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

新庁舎整備に関するアンケートの参考資料

1 新庁舎整備に向けたこれまでの検討状況について

(1) 大磯町役場本庁舎整備庁内検討会（平成 30 年 10 月 ～ 令和 2 年 3 月）

委員は職員で構成され、施設規模、建設地、複合化等について調査・検討を行い、令和 2 年 4 月、検討結果を報告書としてまとめ、策定しました。

新庁舎整備のポイント

建設地：現敷地内を選定

複合化：隣接する保健センターは新庁舎との複合化を行う

(2) 新庁舎整備基本構想等検討委員会（令和 2 年 7 月 ～ 令和 4 年 3 月）

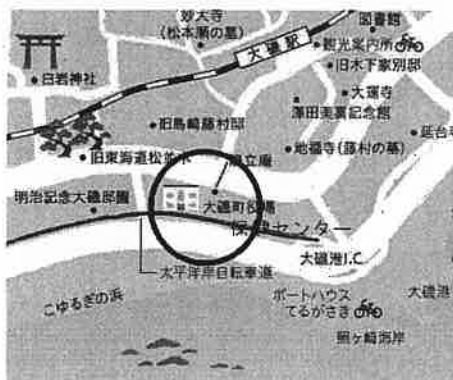
新庁舎整備基本構想（案）の策定にあたり、調査や審議を行う検討委員会を設置しました。

委員は学識経験者、公募町民、町内の関係団体又は企業代表、行政関係機関など 9 名で構成され、現在まで 2 回検討委員会を開催しています。

(3) 新庁舎建設等特別委員会（令和 2 年 9 月 ～ ）

大磯町議会に新庁舎建設等特別委員会が設置されました。

2 現庁舎の場所



大磯町役場本庁舎

竣工：昭和 46 年 5 月（今年で竣工 50 年）

構造：鉄筋コンクリート造

規模：地上 5 階、地下 1 階建

大磯町保健センター

竣工：昭和 57 年 3 月（今年で竣工 39 年）

構造：鉄筋コンクリート造

規模：地上 2 階

（裏面に続きます）

3 現庁舎の課題

(1) 耐震性の不足

現庁舎は、昭和 62 年に耐震診断を実施しました。その後、庁内組織・議会での検討を重ね、移転を含む庁舎建替えを行うこととし、それまでの 10 年程度を使用するための緊急対策として平成 13・14 年に防災対策工事（耐震補強）を実施しました。しかし、緊急対策ということで工事後においても大地震発生時に安全であると考えられているレベルを満たしていない箇所があります。大地震の際に、災害応急活動や災害復旧活動に大きな支障が生じる恐れがあるため、早急な対応が必要です。



本庁舎の耐震ブレース



本庁舎 1 階窓口・待合スペース

(2) 施設の狭あい化

現庁舎は多くの町民が利用する 1 階窓口の待合スペースが十分に確保されておらず、個人のプライバシーに配慮して相談などの業務も困難な状況が見受けられます。



保健センター 1 階カウンター

(3) 施設の老朽化

現庁舎は、老朽化が著しく、外壁コンクリートのはがれや小さなひび割れ、落下の恐れのある箇所を発見しては補修を繰り返しています。また、古くなった排水管の補修など各種設備等も小規模な修繕を繰り返して対処している状況です。

(4) バリアフリー・ユニバーサルデザイン

公共施設として、高齢者や障がい者等に配慮したバリアフリー化と、誰もが利用しやすい施設とするユニバーサルデザインの観点が必要とされるなか、特にトイレは、保健センターに「みんなのトイレ」があるものの、本庁舎のトイレは狭く、部分改修では対応に限りがある状況です。

そのほかにも、**防災拠点としての対応、高度化する情報通信技術等への対応、駐車場の不足、環境・景観への配慮**などの課題があります。また、最近の新型コロナウイルス感染症の影響から、社会の大きな変化に対して、柔軟に対応できる庁舎のあり方が求められています。

4 お知らせ

広報おおいそ 7 月号にて、新庁舎整備に関する記事を掲載します。

今後も町民の皆様に向けて情報発信、ご意見を伺いながら整備を進めていきます。

大磯町新庁舎整備基本構想策定業務委託に関する
公募型プロポーザル企画提案書等の審査結果について

大磯町新庁舎整備基本構想策定業務委託について、公募型プロポーザル実施要領に基づき参加者から提出のあった、「参加表明書」及び「企画提案書」の審査結果は下記のとおりでした。

記

順位	参加者名	評価点
1	株式会社 梓設計 横浜支社	102.0 点
2	株式会社 松田平田設計 横浜事務所	101.2 点

(事務担当は、政策総務部総務課公共施設係)

別表

参加表明書及び企画提案書の評価項目及び判断基準

評価項目		評価基準	評価点
参加表明書	事務所の評価	同種・同等・類似業務実績、技術者数、有資格者数等	42
	技術者の評価	資格・実績、経験年数、繁忙度等	78
	小計①		120
	評価点（A）… 小計①×0.3		36
企画提案書	取組み姿勢及び実施体制	①業務実施に当たっての取組方針について	10
		②業務の実施体制について	10
		③業務担当者の実績等について	10
	提案①～⑤	提案①「大磯らしい庁舎の将来望まれる姿について」 …自然や歴史、文化に恵まれた町の庁舎として将来望まれる姿、今後の庁舎のあり方について提案すること	15
		提案②「災害に対応する庁舎について」 …町民の安全・安心を確保し、災害対策や復旧・復興の中心拠点として、発災後も機能の維持が確保できる庁舎について提案すること	15
		提案③「地球環境にやさしい庁舎 ～省エネ・省資源化対策～」 …地球環境に配慮した環境負荷低減のための方策やライフサイクルコスト削減のための方策などについて提案すること	15
		提案④「町民のための庁舎について」 …効率的な町民サービスと共に個人情報の保護や地域コミュニティの形成に繋がる開かれた庁舎について提案すること	15
		提案⑤「新しいライフスタイルを見据えた庁舎」 …今後の社会情勢の変化やデジタル化社会の進展を行政事務やサービスに活用できる可変性を持った庁舎について提案すること	15
	参考見積	見積金額の経済性	15
	小計②		120
	評価点（B）… 小計②×0.7		84
	合計（A+B）		120